

会長挨拶

日本溶接材料工業会は、国民生活の向上に必要な基礎資材である溶接材料の技術や品質の向上と普及、統計の整備、環境課題への対応等に努め、わが国溶接材料の健全な発展を図ることを目的に、昭和48年に設立されました。現在に至るまで幾度も大きな環境変化に見舞われてきましたが、会員各社の不断の努力により、我が国製造業の発展に大きく貢献するなど着実に取り組みを進めてきております。

ここ10年の間でも、リーマンショック、東日本大震災によるエネルギー政策の転換、円高・デフレによる製造業の海外移転など、わが国の製造業全体は構造的な問題に直面しております。世界全体をみましても、中国を始めとした世界経済の不透明感、各地域の地政学的なリスクなど、先行きへの不透明感が増しております。

このように情勢が急速に変化している中ではありますが、当工業会としては、「ものづくり」のキーテクノロジーである溶接技術、品質の向上を図り、わが国製造業の「ものづくり力の強化」への貢献を果たしてまいります。そして、世界への発信・提案などの活動を進めるとともに、グローバルスタンダードの形成に向けて、日本が真のリーダーシップを発揮できるよう常に変革を求め、業界の活性化に繋がる取り組みを進めてまいります。

また、関係監督省庁とも連携を図り、会員各社が共通の課題に対し必要となる環境整備を進めるとともに、会員各社が事業活動を効率的に行えるよう有益な情報提供に努めてまいります。

これらの活動の基盤となるコンプライアンスへの取り組みにつきましても、工業会自ら体制整備、活動強化に努めてまいりますと共に会員各社は良識と責任をもって業務を遂行し、法令遵守に努めることを宣言しております。

このため、当工業会のホームページを活用し、活動の現況をお伝えしてゆくとともに、グローバルな活動の架け橋となるような運営を図ってゆきます。

併せて、会員各社とともに『協調と競争』の精神のもと、世界で最も信頼される日本の溶接技術のプレゼンスを高め、世界産業の健全な発展に寄与できるよう貢献してまいります。

平成29年7月

(一社) 日本溶接材料工業会
会長 妙中 隆之